



## 2019年度 南地区 市政懇談会

### 次 第

[日時] 2019年10月1日 (火) 18:00~20:00

[場所] 南市民センター 第二会議室

司会進行： 市民協働推進担当部長 平林 隆彦  
南地区町内会・自治会連合会 副会長 岡庭 清

#### ○ 連合会長の挨拶

南地区町内会・自治会連合会 会長 長谷川 義剛 (5分)

#### ○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一 (5分)

#### ○ 職員の紹介

(5分)

#### ○ 市政懇談会について

(5分)

#### 第1部 地域の議題に関する意見交換

(55分)

##### 1 避難施設の運営について

【防災安全部】

##### 2 南地区交通網の整備について

【都市づくり部】

##### 3 町内会・自治会への支援について

【市民部】

#### 第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

(40分)

#### ○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 南地区町内会・自治会連合会 副会長 横田 正勝

(5分)

**2019年度 南地区町内会・自治会連合会 市政懇談会  
議事録(要旨)**

[日 時] 2019年10月1日(火) 18:00～20:00

[場 所] 南市民センター 第二会議室

[出席者] 石阪市長

政策経営部広報担当部長 若林

防災安全部長 篠崎

都市づくり部長 神蔵

南市民センター長 溝口

市民部市民協働推進担当部長 平林

市民部市民協働推進課長 中坪

市民部市民協働推進課担当課長(地域担当) 高橋

市民部市民協働推進課(3名)

南地区町内会・自治会連合会長 ほか27名

司会進行：市民協働推進担当部長

南地区町内会・自治会連合会副会長

**○地区連合会長の挨拶**

皆さん、こんばんは。石阪市長、ご足労いただき、ありがとうございます。例年、この時期になると市政懇談会を南地区がスタートということで毎回やります。ご存じのように、市政懇談会は直接市長さんと担当の部長さんがお見えいただいて、南地区として役員会で皆さんのご意見をお伺いして幾つかのテーマを絞って、事前に問題提起をしています。それについて、市長さんと担当部長さんから本日ご説明いただいて、直接お答えいただくのと、また、それに関して我々市民としての忌憚のない意見を述べられる貴重な時間なので、ぜひともこの時間を有効に使っていただいて、また各町内会・自治会に戻って、市長さんと担当部長さんのお話を伝えていただいて、よりよい町内会・自治会の活動をしていただきたいと思います。

市長さん、南地区は44町内会・自治会が加盟しています。10地区の中では一番多いところなので、数が多いということは意見も多いかもしれませんが、よく聞いていただいて、それだけ皆さん活発に活動をやっていますので、本日はよろしく願いいたします。

## ○市長の挨拶（町田市長）

改めまして、こんばんは。市長の石阪です。お忙しい中、このようにお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。

今、会長からお話がありましたとおり、この場はいろいろな意見を言っていただき、お答えさせていただく、あるいは答え切れないこともあると思いますが、忌憚のない話し合いになればいいかなと思っています。ここの地域は、町田市の中でも非常に大きな人口、数の多い町内会・自治会であります。市政懇談会の最初に、大体いつもこの時期にスタートさせていただいています。なぜそのようなことを言うかという、やはり連合を入れて11回の最初の日はとても緊張します。それこそ、「おまえ、何をやっているのだ」という言い方でなくて、もう少し優しい言い方で、内容的には「何をしているのだ」ということを言っていただければいいかなと思います。

町田市全体の最近の状況については、この後、市政全般に関する意見交換で私からお話をさせていただいて、また意見をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

## ○出席者の紹介

### 第1部 地域の要望に関する意見交換

#### 1 避難施設の運営について

昨年度市連合会で作成した「避難施設運営モデルマニュアル」をもとに、各避難施設の運営について、それぞれ検討したいと考えています。そこで、下記事項について、お答えください。

- (1) 震災時及び風水害時の南地区における避難施設の指定について
- (2) 災害に備えて、平常時に市がどんな支援をしているか（消火器の交換等）
- (3) 避難施設までの経路の安全確保のため、個人宅のブロック塀の対策はどのようなになっているか

#### 【回答】

#### 防災安全部長

(1) 町田市では、町田市地域防災計画で、震災時及び風水害時の避難施設を定めております。

南地区については、震災時には、区域内にある全ての小中学校と都立高校の10施設を避難施設として指定しております。風水害時の避難施設については、想定浸水深が50cm未満の学校施設などを指定の条件としていることから、南地区では鶴間小学校を除く9施設を指定しております。

さらに、現在、南町田グランベリーパーク内に風水害時の避難施設を確保できるよう、事業者と協議を進めております。

また、町田市町内会・自治会連合会が作成した「避難施設運営モデルマニュアル」に沿って、各避難施設の運営などについて検討される際には、遠慮なく防災課へお声がけください。

(2)災害に備えた自主防災組織への平常時の支援につきましては、補助金の助成、防災倉庫の設置、街頭消火器の設置等を実施しております。街頭消火器については、申請をいただいた場合50世帯に1本の割合で町田市が設置しており、日常の点検などの管理については自主防災組織の皆様をお願いしております。

消火器はおおむね10年を目安として圧力が低下することがあるため、その際には町田市で交換をしております。

また、初期消火で使用了場合は、速やかに再充填をいたしますので、ご連絡をいただきますようお願いいたします。

## 都市づくり部長

(3)個人宅に限らず、道路等に面する一定高さ以上のブロック塀等の撤去費用の助成を行っています。

昨年、2018年10月にこの制度が発足し、今月でちょうど1年となります。

この1年間の実績としましては、件数で52件、撤去延長の合計は781mとなります。

まだ予算に余裕があるのでご活用ください。

## 《質疑》

### つくし野4丁目町内会

先ほどの鶴間小学校の風水害時、よく聞き取れなくて、50cmとは何の高さなのか、お願いします。

## 防災安全部長

東京都が、大雨が降ったときに町田では最大でどれぐらいの水深になるかというデータを公表していて、鶴間小学校以外のところは全く浸水が想定されていないだとか、浸水してもひざ下にも満たない、少し水がたまるかもしれないぐらいのところらしいのですが、鶴間小学校はそれを上回る水かさが来てもおかしくないという調査結果が出ています。国が避難施設を指定するときのガイドラインとして、50cmぐらい、ひざより深い水深になると、大人の方でも水の中を歩くのが難しいと言われてしています。

お手元に参考で、このようなものをお配りしているのですが、これで言うと、小中学校であっても、緑より上の色がついているところは指定ができませんと言われてしています。幸いと言ってはあれですが、鶴間小学校以外は黄色か、色がついていないところなので、建物がそこより高くなっているので避難し

ても差し支えないという基準に当たります。青い家の中に人が走っているような絵が描いてあります。ここが避難施設として指定しているところです。鶴間小学校は青とか水色がついている範囲に当たるので、指定はできないということです。

#### **小田急金森わさびだ自治会**

2番目の項目で、先ほど、防災倉庫の設置の補助をされるということで、我々の自治会にも防災倉庫が2つあるのですが、いろいろな備品を買った結果、狭くなり、ふやすことは可能なのでしょうか。漏れ聞くところによると、余り数はふやせないと聞いているのですが、その辺はどのようなのでしょうか。

#### **防災安全部長**

防災倉庫は補助金の中で使っていただいております。ちなみに、防災倉庫を今設置している場所はどのような場所でしょうか。

#### **小田急わさびだ自治会**

柳橋公園の中にあります。一時避難場所になっておりまして、そこに防災とか防犯の備品が入っている倉庫があります。現在大小含めて3つあるのですが、足りないなので、小さいのを大きくするとかすれば入ると思うのですが、その辺は可能なのかどうか。数が可能かどうかです。

#### **防災安全部長**

防災倉庫を、補助金を使って設置していただく分には、数は関係ありませんが、設置する場所がどのような場所かにもよって変わります。極端な言い方をすると、公園なのに倉庫だらけで遊ぶ場所が少なくなってしまうとか、公園以外でも、川沿いの東京都が管理する、昔の川の敷地に設置する際に、防災課が窓口になり、その土地を担当するところと私どもで打ち合わせをして、オーケーが出ればお使いできますとご案内ができますが、その場所によって事情がさまざまなので、基本的には今私が申し上げたとおりですが、ご希望の場所によって事情が変わるので、ぜひ防災課に相談いただき、具体的な場所がここで、ここにもう1つ建てますとご相談をしていただきたいと思います。

#### **(司会) 地区連合会副会長**

今の件は、防災課に相談をすればいいと。何か申請用紙のようなものはあるのでしょうか。

## 防災安全部長

まずはご相談いただきまして、設置をご希望する場所がどういう場所かをお聞き取りさせていただき、可能なのかをこちらでお調べした上でお話しして、できそうであれば、申請用紙にご記入いただいて、手続は防災課でさせていただきますという流れになります。

## (司会) 地区連合会副会長

これまでにどのぐらい補助されているのでしょうか。

## 防災安全部長

数はかなりあります。

## 藤和南町田ハイタウン管理組合

先ほどのお話で50世帯に1器、消火器が設置されていると。この表示は、先端がRになったポールの下に消火器と書いてある、それがその場所ですか。消火器がどこにあるのか一般の方がわかるのかどうか。

もう1点、緊急時、普通の能力がある人は使えるのかどうか。このようなところにあるという告知は何らかの形でされておるのかどうかです。

## 防災安全部長

最初に言われたのは、高さが4～5mある赤いものですね。あれは消火栓というもので、水道管から口が出ていて、消防隊が来て、火事の際に消防車両と水をつなぐものがある場所が、これがついているところです。

街頭消火器というのは、赤い箱で、窓から消火器の持つレバーみたいなものが見えます。ここに圧力計があって、ここの地区だと、「2-001」などの番号が書いてあります。最初にご説明したときにも少し言ったのですが、設置後についてはぜひ地域で管理をしてくださいと申し上げており、各地域の自主防災活動の中で防災マップ的なものを町内会・自治会でつくっているところが多いと思うのですが、ぜひそこに街頭消火器のある場所を記載していただくとありがたいなど。それは実際に火事があったときにどこにあるかわかったほうが使いやすいこともありますし、あと、地域の皆さんで圧力が下がっていないかを、10年ぐらいたったものはご確認いただきたいと申し上げましたが、そのときにも場所がわかるということで、ぜひお願いしたいと思います。

それと、普通の人であれば使えるかというご質問ですが、使い方を教われば使えます。消防署で行う防災訓練のメニューにも、初期消火訓練で消火器を扱いたいとお申し出いただければ、教えていただくことはできます。1度やっていただくと、どのように扱えばいいかがすぐわかるので、ぜひお申し

込みいただき、訓練していただきたいと思います。よろしく申し上げます。

#### **藤和南町田ハイタウン管理組合**

不勉強で恐縮なのですが、エリアごとに、どこに消火器があるのかというマップは、防災課に行けばわかりますか。

#### **防災安全部長**

こちらにはあります。市では、地図にこの番号を落として、どこにあるかということがわかります。

#### **藤和南町田ハイタウン管理組合**

防災マップに入っていますか。

#### **防災安全部長**

入っていません。

#### **藤和南町田ハイタウン管理組合**

防災課に問い合わせれば、エリアごとの、個々に町なかの消火器の場所がわかるわけですね。ありがとうございます。

#### **金森さつき会**

今の消火器のことですが、町田市で取りつけてある消火器はとてもうれしく思っていますが、町内会の経費で、町田市で用意された以外にも設置をしています。町田市でつけた消火器は、古くなったものは取りかえてくれるというお話でした。しかし、ほかにも自主的に8個の消火器を用意しました。問題は、町内会で用意したものは町田市では取りかえられないので、町内会で業者を頼んで引き取っていただくことになると思いますが、どこの業者に頼んでいいのかわからないので、それを教えていただきたいと思います。

#### **防災安全部長**

地域の皆さんが管理する消火器の処分や交換のときの業者は、今、手元にはありませんが、ここでお願いしますというご案内はできませんが、市で把握している業者の一覧をお見せすることはできるので、防災課の職員にご相談いただきたいと思います。

#### **金森さつき会**

私が電話で相談するのではなくて、今懇談会に来ていらっしゃるのので、業者の名前を紙で伝えていただくことはできないのでしょうか。

## 防災安全部長

こちらで把握しているのはこうですよというお伝えはできるのですが、ご紹介という形はなかなか難しいと思います。

### (司会) 地区連合会副会長

また個別に相談していただいて、調べればホームセンター等で引き取ってくれるところもあると思います。

## 小田急金森泉自治会

今日の質問の立場は、都立小川高校の避難施設関係者連絡会、避難施設の運営マニュアルをつくる作業をやっています。その作業の中で知り得たことですが、非常用のマンホールトイレの設置が小中学校はどんどん進んでいるのですが、都立小川高校は計画にのっていないと聞いています。これは行政の壁もあるのは理解しているのですが、ただし、都立の場合、避難施設の収容人数が、体育館も非常に大きいですし、柔道場や剣道場もあり、キャパシティが小中学校に比べると2倍から3倍の状況です。たくさんの方が避難できることは大変うれしく思うのですが、避難用のトイレは、市で用意しているドント・コイというため置き型のものが4台しかありません。人が集まる場所では50名に1つが一般的な数字だということから考えても、1日物を食べなくてもほとんど問題はないと思うのですが、1日トイレを我慢できる人は聞いたことがありません。我々のところは高齢者率が市の平均より10%ほど高い状況になり、非常に心配しています。キャパシティがあるので、小中学校から人があふれたときには、防災のほうも都立の高校に回さなければいけないという決断に迫られるのではないかと思います。そのときにトイレがないと非常にパニックになるので、ひとつよろしくお願ひしたいという、切なる願ひでございます。

## 防災安全部長

いつも避難施設関係者連絡会で大変お世話になっているところで、担当者からも聞いております。おっしゃるとおり、私どもでは各学校にマンホールトイレの整備を進めているところですが、東京都立の学校は、なかなか簡単に手続ができないので、やるのが後になってしまいます。先日、連絡会でもお話があったと聞いていますが、明後日、防災課の職員と下水道部の職員で東京都の教育の大もとの施設管理担当のところに行って今後の都立高校へのマンホールトイレの整備の話し合いをすることになっています。その後には、都立学校は数が少ないのですが、倉庫をふやす話も順次することになっています。市の教育委員会とはまた別なところなので、町田市立の学校と比べて



少しおくれてしまっているところはおわび申し上げますが、ぜひご理解いただきたいと思います。これからもよろしくお願いします。

## 西田町内会

ブロック塀の話ですが、その対策として、市で撤去費用助成が52件と聞き、いろいろ考えていることがわかりました。大阪であのような事故が起きたところにも撤去費用助成はありますが、責任者の方が撤去まで踏み切れないのが現状です。ですから、もう一步進めていただいて安全対策教室みたいなもの、無料診断。建物で言うと、木造の築何年とか、いろいろありますが、写真を裏表撮っていただくと大体判断がつきます。建築士やブロック塀診断士などの民間資格のある方に見ていただくと、この方は本当は十分でないけれども、お金がかかるよねと。その後、どうしようかと悩んでいるのです。これはだめですよと診断を受ければ踏ん切りがつくと思います。ですから、ぜひもう一步進めていただいて。さらにもう一步進めると、非常に危ないのは専門家が見ればすぐわかります。それは市の補助で、予算で、強制的と言ってもは悪いですが、もちろん許可をとりながら、見させてくださいと、もう一步進めていただきたい。2歩進めてくださいという私の長期計画があるので、その点についてお考えをお知らせください。

## 都市づくり部長

市内に、皆さんの家の周りに空洞ブロックはたくさんあると思います。きちんと控え壁を立ててやられている方、また、基礎をしっかりとされている方もいると思いますが、残念ながら、中には基礎がしっかりなかったり、鉄筋が入っていなかったりという見えない部分もあります。経年劣化によってひび割れが入ったり傾きが起きたりすることも見た目の中で判断できるというのは、今おっしゃられたとおりだと思っています。

ただ、数がものすごく多いので、市内を全て回って指摘するのは非常に難しい状況です。職員も限りがあるので、逆に皆様方で日ごろ地域を歩きながら、そういったお話をぜひお寄せいただきたいと思います。ご意見を受けながら、我々もそこを再度確認させていただきます。所有者の方に、すぐに危険ですと言うと、ある意味、脅し文句のようになってしまうので、本当にそれが危険かどうかは、きちんと確固たるものがないと言い切れない部分はありますが、ぜひご検討いただきたいというお話はできると思いますので、情報をお寄せいただきたいと思います。よろしくお願いします。

## 西田町内会

相談は、どの窓口に行けばよろしいでしょうか。

## 都市づくり部長

都市づくり部にご意見をください。所管課でいいますと、建築開発審査課が技術的な判断をいたします。この補助制度自体は住宅課がやっているのですが、技術的に危ないかどうかの判断は建築開発審査課にご相談していただければありがたいので、ぜひ教えてください。

## 市民協働推進担当部長

町内会の皆さんは、相談先がわからなければ、こちらからご案内しますので、まず市民協働推進課にご相談ください。

## 2 南地区交通網の整備について

昨年度の南地区市政懇談会で、つくし野地区と成瀬地区について、新たな公共交通サービスの導入に向けた検討を行っているとの答弁がありました。また、地区内では大型スーパーが閉店し、バスの便も少ないことから、買い物に行くにはますます不便な状況があります。そこで、下記事項についてお答えください。

- (1)つくし野地区、成瀬地区の検討の進捗状況
- (2)南地区全体の活性化の観点から、交通網整備の今後の計画

### 【回答】

## 都市づくり部長

(1)つくし野地区、成瀬地区、両地区とも、これまでコミュニティバスの運行を目指しておりましたが、交通管理者等との協議の中で、想定経路上の狭隘路や交差点、停留所設置場所等の安全性に課題が生じました。

このことから、地域組織と課題解決に向けた協議を重ね、両地区とも、コミュニティバスではなく、タクシー車両を用いた小型乗合交通の導入を検討しているところでございます。

つくし野地区につきましては、交通管理者等との協議がおおむね完了し、2019年度末に実証実験運行を実施する予定でございます。

成瀬地区につきましては、2020年度当初に実証実験運行を開始できるよう、準備を進めております。

(2)南地区全体の交通網整備については、2019年11月の南町田グランベリーパークオープンを契機と捉え、南町田駅～町田バスセンターを結ぶバス路線の増便やその他路線の新設に関して、繰り返し、バス事業者に働きかけを行っているところでございます。

しかし、運転士不足の問題等が課題となり、いまだ、バス路線の増便や新設がかなわない状況でございます。

引き続き、既存バス路線の増便及び、バス路線新設の早期実現に向けて、

バス事業者に働きかけを行ってまいります。

## 《質疑》

### 西小川親和会

前年度、やはり同じ日付で同じような話があったと思いますが、確かに運転士不足、それから社会情勢が労働条件も含めて難しいことはわかります。ただ、幾つかの解決策を考えていただけたかどうか。まず、バス事業者に対して努力しているというお話を、去年、ここでお話しいただきましたが、89系統のお話で、いつまでにできるのかもお聞かせいただければと思います。

といいますのも、私もそろそろ免許返納の年齢になり、交通事故の心配もあるので、仲間内でも何人かそういうお話をいただいています。そうしますと、公共交通を利用することが多くなると思います。その辺もバス会社に、こういう状況で利用者はふえるよと、少しおいしい話もお伝えいただいて、いつまでにできるのかというお話を賜ればありがたいと思います。

### 都市づくり部長

確かに昨年も同じお話をしたことは記憶にございます。毎年、バス事業者には私も直接お話をしていますし、今年は、神奈中に対して、市長から直接申し入れをいたしました。10月1日の東急田園都市線のダイヤ改正で、本日からつくし野や南町田に急行と準急がとまるようになりました。これを契機に、電車とバスはつなぎながら公共交通としてやっていかななくてはならないということで、このチャンスに、町田市民の足を担っている神奈中として、バスをしっかりと運営してくださいという趣旨を市長から申し入れをしているところです。そこは本当に力不足で申しわけございませんが、我々も今後引き続き頑張ってまいりますので、よろしくお願いします。

### 小川自治会

今の件で、神奈中さんは確かに運転士がいなければならぬけれども、ほかのバス会社との交渉はできないのか、ご意見をお伺いしたいと思います。

### 都市づくり部長

利用する側からすれば、別に神奈中でなくてもいいではないかというのはごもっともなご意見ですが、昔、駅への出入りの権利みたいなものがあり、何となくエリア割ができていたので、国からも、仲よくしろよというのはバス事業者間にお話ししているところです。ただ、運転士不足は、神奈中だけでなく小田急も京王もみんなそうなので、お互い助け合わないと交通が成り立たない状況になっているのではないかと、今申しました国からの

指導も含めて、少しずつお互いに入出入りがあるようになってきているのですが、非常に難しいところです。

#### **(司会) 地区連合会副会長**

昨年も同様のやりとりがありまして、今年は11月にグランベリーパークがオープンするということですので、今もやっていただいていると思いますが、ぜひ前向きに取り組んでいただきたいと思います。

### **3 町内会・自治会への支援について**

町内会・自治会活動の活発化への支援や加入促進策について、昨年度市連合会の市政懇談会の議題にもありましたが、その後の状況をお知らせください。

#### **【回答】**

##### **市民協働推進担当部長**

町内会・自治会の皆様におかれましては、日ごろから地域のためにご尽力いただき感謝申し上げます。

町田市では、2019年1月に新たな町内会・自治会の加入促進チラシを作成しました。このチラシは、子どもの安全を守ることを全面に打ち出すことで子育て世代に訴求効果のあるものとししました。

昨年11月7日に締結した、町田市町内会・自治会連合会と東京都宅地建物取引業協会、全日本不動産協会との加入促進に関する協定を最大限活用し、各不動産店舗にて加入促進チラシを配布しています。

また、今年8月には、町内会・自治会への加入に対して敷居が高く感じたり、不安を感じて加入をためらってしまう方々に向けたプロモーション動画「マイファースト町内会」を作成しました。

この動画は、9月からケーブルテレビで放送し、YouTubeで配信しております。

そのほかにも、町内会・自治会の魅力を発信できるように、町田市連合会のホームページの全面リニューアルについて、現在連合会と準備を進めています。

今後も、町内会・自治会の加入促進に向けて、町田市連合会とともにさまざまな対応策について検討し、実施してまいりたいと存じます。引き続き、よろしくお願いいたします。

ちなみに、町内会・自治会の加入率が、1975年、大阪万博が終わって5年ぐらいは85.4%で、8割以上の方が町内会・自治会に入っていました。ただし、2019年4月1日では51.5%まで落ちている。毎年少しずつ落ちている状況です。町内会・自治会というのは、地域活動では一番大事なものだと思い

ます。今、千葉だとか、いろいろなところで災害が起きていますが、もし災害があったときに、消防署も警察署もすぐには来てくれません。最初の3日は地域の皆さんで協力し合って、連携し合わないと、災害を乗り切るのはかなり難しいと思います。

ただ、地元の消防団はきっと皆さんの助けになるので、町内会・自治会の加入もそうですが、ぜひ消防団にも、どしどし加入していただきたいと思っています。

## 《質疑》

### すずかけ自治会

この議題と外れてしまうかもしれませんが、今のお話を伺って思ったのですが、大きな災害が起きたら3日間は行政が助けに来ないので地域で頑張ってくださいということですが、すずかけ自治会は、今まで地震や水害に関しては、滅多なことでは避難所が必要にはならないだろうという感じで住民もあまりピンときていなかったのですが、この前の台風の風害で、自治会内でも倉庫の屋根が飛んだりしたので、風で屋根が飛んだり停電になって避難所が必要になるかもしれないということや、かなり皆さん身近に感じたので避難所のことが話題になりました。地震のときには震度幾つ以上なら避難所の開設がされるという話を聞いたのですが、例えば水害の場合は、警報や避難勧告に関連して避難所を開設するという基準があるのですが、風だけがすごく強い場合は、避難所をどのタイミングで開設するのかや、そういうときに避難所の責任者の方とどうやって連絡をとるのか。自力で何とかするというのはどういうことなのかを具体的に教えていただきたいのです。

### 防災安全部長

災害と言っても、地震や雨、ついこの間の千葉県では風でした。地震のときは震度6弱以上であけることになっていて、避難施設関係者連絡会に入っているところで、皆さんにもやっていただくことでお願いしています。雨のときは、たまたますずかけ台だと、恐らく土砂災害の想定をする箇所も比較的少ないところだと思うのであまりないかもしれませんが、土砂災害警戒情報を気象庁が出したときや大雨警報が出たときに、また川の近くで浸水のおそれが高いという情報が来たときには、避難準備・高齢者等避難開始という情報を出して、あふれていないけれども、避難に時間がかかる方は今のうちに逃げてくださいというのを出したり、避難勧告ということで、危ないと言われている区域の方は逃げてくださいという情報を出します。

その情報を出すと市長から私が指示を受けたら、その情報を出す時間までに避難施設をあける職員を派遣して準備をします。そのときには防災無線を

流しますが、あれは、雨が降っているときに窓をあけている人はいないので多分聞こえないですが、メール配信サービスに登録いただくと、必ず届きます。それと、どこの避難施設をあけますという情報が入ってきます。

あと、スマートフォンを持っている方は、よほど設定をいじらなければ、携帯会社の緊急速報メール、かなりうるさい音がしますが、あれで市のメール配信と同じ情報がお手元に届くので、それを見ていただいて、あらかじめ浸水想定区域内の方や土砂災害警戒区域等の中、あるいはすぐそばにいる方はお近くの避難施設に行ってくださいというのが雨のときの対応です。

風の場合は、むしろとどまっていた方がいいと思います。外に出ますと、木が倒れたり、ひどいと瓦が飛んで屋根が破損したという話もありましたが、そういったものが飛んできてけがをしたり、あるいは命の危険もあります。たしか、この間の台風の時も、東京でも1名の方が亡くなったのですが、暴風警報が出ている中、屋外を歩いていて飛ばされて、壁か何かに激突したのが防犯カメラに映っていたという報道がありました。むしろ大風が吹いているときは逃げないでいただいた方がいいと思います。

## すずかけ自治会

風の場合は、もちろんその最中には外に出ないと思うのですが、今回の千葉のように、被害が出てしまった後、家に住めなくなってしまった方を、避難所を開設して保護していただくことはできるのでしょうか。

## 防災安全部長

災害のときの避難施設は、そのときに自宅にとどまることができない方に一定の期間、滞在していただけるように開くものですので、今ご質問があったとおりの対応をすることになると思います。

## 町谷町内会

先ほど部長から加入率が減っているというお話があったのですが、うちも50%ぐらいです。班長たちが加入に行ってもよく言われるのが、町内会のメリットがないと。たかがと言ったら怒られてしまうけれども、うちは会費が年間2400円ですが、それでも皆さん嫌がります。昔は、ごみ集積場を町内会で見ていたので、そのようなことはなかったのですが、今は、ごみは個人になってしまったのでメリットがないのです。

この間、議員にメリットを何かつくってくれと言いました。市や警察は、よく新聞広告を入れているのですが、どのくらいパーセンテージがあるのかと言うと、今は新聞をとる人も少ないから50行かないというのです。お金をかけていて50行かないのだったら、その分自治会に回して——自治会で回すと時間がかかるので広告に入れてしまっているのかもしれないのですが、前

もってわかっているものは、なるべく自治会を通すようにしてくれれば、そういう情報を大事にするようにしてくれれば加入者も多少はふえるのではないかと思います、いかがでしょうか。

#### 市民協働推進担当部長

いわゆる回覧板で、チラシや資料を月2回、市民協働推進課でまとめてお送りしていますので、町内会・自治会に入っていると、市の情報が早く手に入るというメリットとか、あとは先ほど言った災害時に助け合い協力し合える、そういうメリットがあることを重ねて言っていたきたい。市でもいろいろPRはしているのですが、なかなか難しく、町内会・自治会が条例や法律があってできているものではなくて、あくまでも任意の団体になってしまうので、市から強制的に入れとは言えません。入っていただいた方に対しては1世帯当たり幾らか、活動費として補助金を町内会に出していますので、そういうことを説明していただきたいと思います。

#### 町谷町内会

入る人は、補助金などどうでもいいのです。入らないと、ちょっとした情報が入りにくいとか、入る人のメリットが欲しいのです。例えば、ごみも今は個人になってしまっていますが、昔みたいに場所をつくって町内会管理にするとか。そうすると、町内会に入らないとごみを出せないではないですか。

#### 市民協働推進担当部長

そうですね。ただ、どちらが便利でいいかということですが、町内会によっては、瓶缶の資源ごみは全部町内会で回収しています。そこで収入が結構あるみたいで、お祭りだとか、いろいろと町内会に還元をしているということは聞きますが、なかなかメリットをこうだと明言できなくて申しわけないです。それも町内会の皆さんと市役所と一緒に考えて、これからもPRしていきたいと考えております。

#### つくし野4丁目自治会

その件で、非自治会員と自治会員で災害時に物資が配られるときの混乱が起きないかどうか。自治会は、自治会員のための物資を用意していますが、市から配られるものはもちろん全員用意されています。そういうときにしっかり動けるのは自主防災隊だと思うので、規則としては自治会員のために優先的に動くことになっているのですが、そういう意味で、自治会に入ってほしいと勧めています、そのときの混乱が非常に怖いと思います。非自治会員で困っている方を人道的に優先して差し上げたいのはもちろんですが、そこを自治会が仕切れるのかと、すごく怖いのが本音のところでは。

## 町田市長

七、八年前、東日本大震災の後、議会で、仮に避難施設に行ったときに、水や食料は大体何時間かで全部なくなってしまうので手に入らないとなると、どうなるのだと質問がありました。そのときに私が答えたのは、町内会・自治会に入っている人は顔がわかります。役員の人も、入っていない人の顔はわかりません。わからない人は、はっきり言えば、順番は後回しになりますということは本会議で答えました。

今のお話のように、渡さないとは私も言えないですが、順番が後になりますよと言いました。それはなぜかという、そういうときには、市役所の職員、消防も警察も来ない。そうすると、誰に配るか、自分たちでやらなければいけない。そのときに、顔がわからない人にまず配るということはしない。顔がわかる人に配る。だから、町内会に入っていない人は順番が後になるということをお答えしました。メリットというよりデメリット。

もう1つは、災害時の地域の関係の情報、どこに逃げたらいいか、どの通りを行ったらいいかは、町内会・自治会に入っていない人は避難訓練もやっていないのでなかなかわからない。加入していない人には情報が伝わらないとか手に入らないということが起こるので、そういう意味では、実際に災害が起こったときには、加入していない人は、食料の問題やら避難施設へのルートやら、いろいろなことがわからないことになってしまうので、それは、非常時には入っていないと大変なことになるというのが一番大きなデメリットです。メリットが何かというのはそれほどないのですが、デメリットはかなりあるので、加入をしてくださいよという話はしています。

## 西小川親和会

ただいま市長がはっきりおっしゃっていただいたことは、去年、私も同じようにお話を賜ったのですが、これを広報に記載していただくと、我々も非常に勧誘しやすい。といいますのは、我々は、市長がこうおっしゃってましたよと口伝えで言うしかありません。我々が信用していただければいいのですが、「そんなことを言うの」と言う町内の人もあります。ですから、別に広報紙1面でなくていいのですが、顔写真入りで書いていただくと一番いいのですが、そういう機会があれば、ぜひそういうことを皆さんにお知らせいただければいいのではないかと思います。その辺、よろしくご検討いただきたいと思います。

## 町田市長

1995年の神戸の震災でこの問題は起こっています。実は食料が手に入らないということで、避難所に行って食料をもらって、その人は、次の避難所に



行ってまたもらうのです。入っていないとか、入っているということを聞かないで配っている。あの人がまた来たよ、あっちにも行ったよと、実際神戸ではそういうことが起こっています。その地域の避難所ではなくて、全然違うところから来て食料を持っていく。これが神戸では大混乱になりました。でも、断れないのです。「あなたは、ここの住民ではないですよ」と言っても「何がいけないのだ」となってしまったのです。

皆さんは今大地震が起きていないので冷静ですが、実際に大きな地震だと、このように冷静ではなく必ずけんかになります。ですから、実際の問題として神戸ではそういうことが起きていますので、名簿だとか、町内会で顔がわかっているとか。先ほども言いましたが、市役所の人には行きませんから役員の方が仕切る以外に手はないので、自治会に入っていないというのは、そういう事件が起こると思います。

#### (司会) 地区連合会副会長

災害が起こったときには自治会に入っていることが大きなメリットだということで、ぜひ大きく広報でも取り上げていただきたいと。それがまた1つの支援になるので、地区協議会も連合会をベースにしてということとずっと言われていますので、ぜひこれからも町内会・自治会の支援をよろしくお願いしたいと思います。

## 第2部 市政全般に関する意見交換

### 市長からの市政報告

それでは、一番直近のことから、今日、ラグビーのキャノンイーグルスのキャノンスポーツパークに、ナミビアというアフリカのチームの練習を見に行き、ヘッドコーチに激励をしてきました。次の試合がニュージーランドなので、「ワントライとってきてください」と言ったら、ヘッドコーチは「頑張る」と言っていました。ナミビアのチームは次の試合に向けてキャンプを張っています。ちなみに、南アフリカとインドネシアは、来年のオリンピックのホストタウンに私どもがなっていますので、同じようなことは来年も起こると思います。

それから、オリンピックでは、7月21日、1カ月ちょっと前ですが、自転車のロードレースのプレ大会を小山ヶ丘から相原町にかけての道で、堺農協支店でイベントをやりました。私どもは、オリンピックは、中国と南アフリカとインドネシア、キャンプは3カ国受け入れています。キャンプは日本のあちこちでやっていますが、3カ国も受け入れているのは7市しかありません。そのうちの1つが町田市です。

ただし、その7市でラグビーのキャンプを受け入れているのは町田市だけ

なので、全国でラグビー含め4カ国も受け入れているのは町田市だけです。ものすごく忙しく仕事をして、土曜日も日曜日もないので、大変なことになっています。

パラリンピックもインドネシアと南アフリカのキャンプを受け入れます。この間、インドネシアの空手のチームが来ましたが、バドミントンも総合体育館でやることになっているので、オリンピック・パラリンピックの取り組みは全国的にも非常に熱心にやっている市だと思います。

聖火リレーは、年末頃に発表になると聞いております。終わったときにセレモニーをやるのですが、そのセレモニーがシバヒロであります。

ランナーはまだ決まっていません。東京都や組織委員会が調整しているようです。

一番直近の話では、先ほど少し出ました南町田のグランベリーパークです。モールがリニューアルしてパークになるのですが、11月13日にオープンします。12月14日に、スヌーピーミュージアムもオープンします。前売りが1800円、当日2000円、子どもは小学校が600円ぐらいで入れることになっています。世界ではカリフォルニアに1つと町田に1つで2つしかないですから、外国からも来ますので、最初の何カ月かは混みあって入れないと思いますが、落ち着いたところで、行っていただければいいかなと思います。急行も今日から平日にとまるようになりました。そういう意味では、大分便利になるのかなと思います。

ただ、ちょっと心配は、交通渋滞が起こるかもしれないです。前のときにも起こりました。例えば、私がみなとみらい地区で働いていたときは、新しく商業ビルができたときに、みなとみらい地区に入ったら2時間出られないみたいなことになりましたので、多分大丈夫だとは思いますが、何日か様子を見て、そういうことがないことを確認してから、あちこちに駐車場を用意していますが、足りるかどうかわからないので電車だと思います。

それから、高速道路は、これは私どもの仕事ではないのですが、今、横浜町田の次の横浜青葉インターと港北インター、第三京浜、あそこの間の工事をやっていますので、来年の夏にはつながります。そうすると、南町田の駅前というか、グランベリーパークから16号の信号をこっち側へ来て、ゴルフ屋さんのところで乗れば、羽田まで信号なしで全部高速でつながってしまう。ですから、30分もあれば羽田空港までノンストップで行ってしまいます。青葉へ行って、青葉から港北インターへ行って、港北インターから、ずっとトンネルですが、生麦へ出て、そこから羽田に出られるという。来年の夏、オリンピック前に開通すると聞いていますので、羽田空港をおりて30分でスヌーピーミュージアムに来るお客さんがかなりいると思います。

それから、野津田公園の競技場の5000席増設工事が始まりました。基盤整備はもう去年からやっているのですが、建築工事が始まりましたので、再来

年の2月までには1万席が1万5000席になる予定でやっています。

薬師池公園は、来年4月に新しくウェルカムゲートという、要は、道の駅という定義にははまらないですが、道の駅ができます。木造ですけども、建物が6棟ぐらい建って、そこで野菜を売ったり、いろいろなものを売ったり、駐車場やカフェ・レストランができます。

近場のお話では、私がドイツに出張することになりました。ケルンというところに行って、ユニセフの子どもにやさしいまちづくり事業という会議に、再来週に行くことになりました。町田市が子どもにやさしいまちづくりをやっているということで参加をしますが、子ども会議というのも、中学生と高校生の会議があります。その会議は英語でやるらしくて、中学生、高校生は英語で会議ができる人を選んで行くことになりました。

町田市の子育ての関係の政策ですが、最近では、市長と語る会を若い人とやっています。高校生が市役所の仕事を評価する事業評価も今回で2回目になります。そういうことはユニセフとしても非常に勧めていることで、子どもたちが自分の意見で行政と意見交換をして、いろいろなことをやって進める。そういうことをやっている模範となる市と認定されて、私がドイツに行くことになりました。

もう1つ、子育ての話をしてみると、今日から、幼稚園、保育園の3歳から上の子の保育料は無償になりました。それから、ゼロ歳から2歳は、一定の所得以下の人もただになりました。幼児教育無償化という政策です。このお金は、皆さんが消費税の増税分を負担していただいているということであり、今日から消費税が食料品以外は、お酒も10%になりました。ノンアルコールは8%です。ややこしいのですが、そのようになっています。

それで、今年の待機児童、保育園は127人ということで、今の計画では、来年、再来年ぐらいには何とかゼロにしようということをやっています。もう3歳から上は待機児童がいません。みんな0、1、2、特に1歳が非常に厳しい状態。しかも南地域が一番厳しい状況で、南町田だとか、この辺が市内では一番待機児童が多い地域で、何とか今年、来年中に、この辺にもたくさん保育園をつくらうということで今やっている最中です。

それから、中学校の給食は、事業者がつくって運んでくる弁当とご家庭から持ってくる弁当と両方やっているのですが、今年の9月から1週間、全員事業者がつくって運んでくる弁当を食べるというやり方をやっています。ただし、その1週間は無料です。とにかく食べてみてくださいということで、もう1カ月たちました。始めたところでは比較的好評で、冷たいとかまずいとかいろいろ言われたけれども、そんなことはない、最近報告をいただいているところです。

それから、これは中学校給食とは関係ないのですが、小学校の給食費を集めることをやっています。少ないのかもしれませんが、親御さんが集めてい

る学校もありました。それはもうやめて、来年からは市が直接徴収する、早い話が銀行引き落としにさせていただくのですが、切りかえて、学校長や保護者はもう給食費を集めることはしないことに決めまして、今、情報システム課で新しいコンピューターシステムを設計していますので、4月から給食費は公費という扱いになります。

それから、給食費ですが、資料の中にこのようなものがあります。2019年8月、まちだ〇ごと大作戦の写真がついているものですが、10ページと11ページに小学校の給食があります。11ページ、写真の左に四角い囲みがありまして、1食当たりのコストは293円です。ただし、これは委託費や人件費です。食材費や減価償却を含めて言うと550円で結構高いのです。この写真が1食550円、お店へ行って、これで550円というと、これはもうけなしで、はだかの値段ですから、これで回収しようとするとうどうなるかということ、700円とか800円取らないと、この食事は提供できないですよ。皆さん、これに800円出せないですよ。

でも、非常にお金がかかっている。要因のひとつとして、アレルギーの除去食の提供にお金がかかっていることがあります。材料を分けるのも、食事をつくるのも分けているので相当コストがかかっています。小学校は、対象となる児童の診断書をもって、除去食を1人1人やっています。除去の仕方も、豆の人もあれば牛乳の人もいる。小学校では全部やっているので、こういうコスト高になることを理解いただきたい。これは、そういうコストが幾らかかっているかを皆さんにわかっていたくためにつくっている紙です。そういう意味で、中を見ていただくと、それくらいかかるのだみたいなことがわかるようになっています。

今の11ページの緑色の円グラフは何かというと、市役所が扱っているお金です。保護者が払っているお金はこのグラフの中に入っていないので、全部市がやっているみたいですが、実際は、食材費は保護者の方が出しているのです。4月からは、この円グラフの形が変わることになると思います。

円グラフで一番わかりやすいのは19ページの介護です。介護保険の事業では、1号の保険料が23.7%、2号が25.3%、国と都の支出金が35.7%、市税が15.3%、はっきり言って半々です。皆さんが払っている保険料が半分、税金が半分で介護保険は運営されています。ですから、介護士さんの人件費を上げると、税金による負担や、皆さんの保険料を上げるかしないと賄えません。こういう形で、やっている事業は誰が財源を負担しているかがわかるために円グラフを使っているのです。後で見ていただきたいと思います。

最後に、特別養護老人ホームの話をしてします。この地域ではかなり整備が進んでいます。地域の方に土地を出してくださいとお願いをして、かなり整備しています。今、特別養護老人ホームに申し込みをして1年以内に入れた人がどれくらいかということ、ちょうど10年前は45%でしたが、昨年度で90%の

人が1年以内で入れるようになりました。かなり整備が進みました。

ですから、半年では7割ぐらいの人しか入れませんが、1年以内だと9割ということで、そういう意味では、特別養護老人ホームに入れないとか、なかなか見つからないという事態は少なくなっています。青梅や八王子には特別養護老人ホームが結構ありますが、東京都の立川から東は、あまり整備できていなくて、23区の場合は栃木や群馬に行かないと、入所できない状況です。町田の場合は、町田市内の特別養護老人ホームに入所できる状況になっています。

## 《質疑》

### 成瀬が丘自治会

先ほど保育園の無償化の話がありました。国政の話かもしれないけれども、無償化すると待機児童との格差が広がるわけです。要は、入りたいけれども、入れない。町田市としては、入れなかった人に対して何か援助はあるのでしょうか。

### 町田市長

入れなかった人に対して、金銭的援助はしていません。

### 成瀬が丘自治会

それを放っておいていいのですか。

### 町田市長

今の私どもの計画では、2021年4月には何とか解消しようということをやっております。

### 成瀬が丘自治会

でも、今、保育園に入っている人は今日から無償なわけですね。その格差が広がるのではないのでしょうか。

入っている人は無償で入れる。入りたいけれども、入れない人はどうするのですか。何か援助がないのか。入っている人は3万幾らが無償化される。そこをやるのが福祉ではないのですか。

### 町田市長

無償化は3歳から5歳です。無償化で入れない待機児童と格差があるという話ですが、3歳から5歳は待機児童はいません。ですから、今、0、1、2歳が待機児童です。そこは無償化ではありません。ただし、所得が低い人

は無償になるので、おっしゃるとおり、福祉的措置として無償化をしているのであって、無償化の対象は3歳から上です。所得の少ない人は0歳でも無償化していますので、所得の少ない人だけ得しているという言い方はあるかもしれませんが、それなりの所得がある人には無償化はしていないので、バランスはとれている。ただし、そこに待機児童がいるのは非常に問題があるので、それを解消というふうになっています。

#### 成瀬が丘自治会

早急につくって、早く恩恵を得られる人と得られない人の差をなくしてほしいのです。

#### 町田市長

それは、まさしく今、この南地域が一番ひどい状態ですから一生懸命やっていますけれども、すぐというわけにはいきません。

#### (司会) 地区連合会副会長

ということで、よろしいですか。

#### 成瀬が丘自治会

納得はいかないけれども、いいです。

#### 高ヶ坂あかね自治会

学校給食の割高になっている理由はアレルギー対策ということでしたが、アレルギーの問題を持っている子どもの割合がどれぐらいいて、どの程度の子どもたちのために全体が不利益ではないですが、要するに、問題のある子は、ばらばらの、この子は豆がだめだとか、牛乳がだめだとか、いろいろあるわけだから、それは個々の家庭がその子どもに合った弁当を持たせれば。その割合にもよると思いますが、どのようになっていますか。

#### 町田市長

実は結構な割合があります。2016年のデータしかないのですが、小学生は2万2878人で、2.2%です。学校給食、小学校の場合は全員が同じものを食べるので、特段の事情がある場合を除き、お弁当を持ってこさせることはできません。中学の場合は、アレルギーがある場合には弁当を持ってくるようにしていますが、小学校は原則全員給食なので給食を食べることになっています。アレルギーの種類がたくさんあり、その率が高くなってしまっているので、お弁当を持ってきてくださいというのは、ちょっとできないかと思えます。

## つくし野4丁目自治会

市長さんのお話には出てこなかったのですが、都市づくりに関係すると思いますが、台風15号のときの千葉県の停電に対する対応というか、現状から感じたのですが、将来、例えば新しく開発された土地では電信柱を地下に埋設するという方向、あるいは不動産業者や開発業者に義務づけるような方向は考えていらっしゃるのかをお聞きしたいと思います。

## 町田市長

小田急不動産が開発した小山ヶ丘の一戸建ては電柱がありません。ただし、その分、分譲価格は高くなっています。宅地内は一切電柱がないということで非常に人気が高いのですが、値段も高くなっています。新しい住宅地は比較的楽にできますが、既存の住宅地で無電柱化をするのはなかなか難しいです。最初からやっていたらさっさとできてしまうのですが、今あるものを地下に埋めてやり直すのは非常にお金がかかるので、住宅地では、はっきり言って、ほとんど無理かなと思います。電気事業者さんにも負担がかかる工事なので、電気を使う人の家の数が少ないところはなかなかできない。

今、町田市では中央通りという、サルビア交番から市民フォーラムまでの通りはこれから無電柱化になります。まだ6～7年かかりますが、今、設計をしている最中です。あそこは両サイドに電気の需要がすごくあるので、電気料で回収できるのでやれるのですが、住宅地の場合はなかなかそれができないので、最初からやるか、あとはもう諦めるかという状況になっています。

千葉の話も、実際に供給している電柱が、戸数が非常に少ないところなので、東京電力としては非常に厳しい状況。皆さん、ご存じのように、電力会社には、1軒でも家があったら、何百mに何十本建てても、その1軒のために電気を送らなければいけないという義務があります。そういうところで何本か倒れても、その家に行くのは、この間の順番で言うと後になっているのです。だから、復旧には相当長くかかっていると思います。

もう1つは、電柱が風で倒れることを想定していなかったというか、何十年に一度の風なので、これからは、電柱は大丈夫なのかなという心配があります。その対策はまだこれから考えるところであります。町田で起こると、同じことが起こると思いますし、量的にも千葉の比ではないので相当に時間がかかると思います。本当にこれから考えなければいけないということで心配なのですが、まだ国からも都からもどうするのだという話は来ていません。ただし、地下に埋めるというのは、町なかであればできるけれども、住宅地ではなかなかできないかと思います。

## つくし野4丁目自治会

この会議室のホワイトボードに何か書かれています、もう1度説明を。

### 防災安全部長

本日は、南地区の洪水ハザードマップをお配りしています。これは、12月ぐらいに皆様の各ご家庭にもっと大きいものをお配りします。黄色いところはひざ下ぐらい水が来るかもしれないところ、緑色は、もう少し、これぐらいまで来るかもしれない、薄い水色は1m～2mを超えないぐらい、水色の濃いところは2m～3mを超えない。青の濃いところは3m～5mを超えないぐらい、紫のところはそれ以上、だけれども、10mは超えないだろうという予想が出ています。

これはどれぐらいの雨かという、1000年に1度ぐらいのものと言われております。ちなみに、今までの洪水ハザードマップは、20年ぐらい前ですかね、名古屋の町がかなり広範囲に浸水してしまった東海豪雨のときの想定で、大体数十年に1度ぐらいのものと言われております。マップを年内にお配りいたしますので、ぜひごらんいただきたいと思っております。

### ○閉会の挨拶（南地区町内会・自治会連合会副会長）

本日は、年に1度の南地区の懇談会の席を設けていただき、市長を初め市の職員の皆様、本当にありがとうございます。御礼申し上げます。

冒頭で境川の話が出ました。50年ぐらい前ですかね、今は真っすぐの境川が蛇のようにぐねぐね曲がっておりまして、台風が来るたび、大雨が降るたびに大洪水で、一面海のような状態。水が引けば、当時は下水道が整備されていない。保健所の車が来て粉をまき散らして、すごいにおいがしていたと。そんなことをふと思い出しました。そのころに比べると、非常に多くの改善が見られるのかなとは思いますが、さらなる改善をご期待申し上げます。

交通網に関して、ミニバス等の改善が多くできれば、質問の中にも出ましたけれども、免許証の自主返納等のことも多くの改善が見られると思っております。ぜひご尽力いただきたいと、かように思います。

それから、町内会・自治会への加入促進、先ほど、もう51.何%、これは50%を切ったら大変なことになると思います。先ほどから質問に出ていましたが、私も数年前に同じような質問をさせていただきました。何か具体的なメリットはないのか。いまだに返答がありません。というのは、やはりアピールしにくいのだと思います。先ほど市長が言いましたが、入っていないデメリットはこういうものがあるよと。ですから、メリットを言うよりデメリットはこういうことがあるよと。俗に言うネガティブキャンペーンみたいなもののほうが、よほどインパクトがあるのではないかと感じました。

ここにお集まりの町内会・自治会の皆さんはいろいろな問題を抱えており



ます。その中で、市民協働の平林部長が「おれのところへ来い。全部面倒を見る」と。「全部解決するよ」とは言っていませんが、力強いお言葉をいただいて、非常にありがたく思います。

また、一部力不足で申しわけないというお話もありましたが、ぜひ来年のこの席では力不足という言葉は言っていただきたくないです。努力されていることは重々承知しております。今後ともぜひご尽力いただき、町内会・自治会のために頑張ってくださいと思います。

本日は、お集まりの皆さん、ご苦労さまでした。ありがとうございました。  
(拍手)

以上